

園児、保育者、保護者！みんなが集まる

愛される園って どんな園？

園児募集や職員採用、職員の働き方改革やモチベーションアップ……。山積する園の課題に悩むA園長が、そんな悩みをぜんぶ叶えている愛され園があるとき、気になるポイントを徹底取材。まずは大豆生田先生に伺いました！

働き方改革
できている？



園児募集の工夫は
してるの？



保護者対応
どうしてる？



ICT活用はどう？



大豆生田 啓友先生

玉川大学教育学部教授、日本保育学会副会長、こども家庭庁こども審議会 委員など歴任。TV や雑誌に多数出演。

大豆生田先生に聞く！愛される園とは？

愛される園は、特別なことをしているのではなく、保育者自身が、保育を楽しんでいる園だと思います。保育者が子どもを肯定的に受け止め、一人ひとりの興味や関心に気持ちを寄せ、一緒に遊び学ぶことにワクワクする。それを保護者や地域にも伝え、ワクワクが広がる。人が集まる園にはそんな好循環があります。一方で、現場は保育を楽しむ余裕がないことが多いのも事実。ICTなどをうまく活用し、子どもと向き合う時間を生み出していけるといいなと思います。

園運営に悩むA園長



社会福祉法人 めぐみこども園

福井県 / 定員175人 / 職員数60人



お話を伺った人

中戸園長

ICT導入

2022年

コドモン(ドキュメンテーション
請求管理他すべて一元化)

ICTのドキュメンテーションで 対話が増え保育の質がUP! 園児や就職希望者もUP!

遠方からも学生や保護者が集まるほど人気のめぐみこども園。かつては園運営に課題が多かったそう。変化の鍵になったというドキュメンテーションについて伺いました

職員同士で毎日シェア。明日の計画を話す



サークルタイムで子どもの声をきく



活動を記録

人が集まる理由は?

ドキュメンテーションで、 子ども主体の保育を実現

かつては、書類作業が多く、職員の会話が少ないことが課題でした。現場からの声で、子ども主体の保育に転換。「サークルタイム」「写真付きの活動記録」「その日に何の育ちを共有」この循環で、保育者自身も主体的になり、ワクワクする保育に / ドキュメンテーションのICT化で、共有や計画、振り返りが容易になり、対話の楽しさや保育のおもしろさが伝染し、人が集まるようになりました。

活動記録
火曜と水曜を
いきました

ドキュメンテーションやSNSで記録を発信 / 保護者や学生の間で、ワクワクする保育が話題に /

職員採用どう工夫?

中高生を積極的に受け入れ

日ごろから地域に開かれた活動を行い、学校にチラシを配り、中・高・大学生に読み聞かせや見守り、行事の手伝いなどに参加してもらっています。ワクワクする保育に魅了された学生が、戻ってきて就職するケースも。また、職員には公開保育や研修で保育の楽しさを実感してもらったり、メンター制や週休2日制など取り入れたり、意欲UPに注力しています。



学生や、地域にもオープンに。公開保育にオンラインも含めて300人参加したことも

保護者対応どうしてる?

コドモンのドキュメンテーションで ワクワクを共有、保護者もファンに!

ドキュメンテーション一つ作成すれば、日誌、連絡帳、週案に展開できるので、保護者との対話時間も増えました。その成果でしょうか、子どもを丁寧に見てくれる園、という口コミが広がり入園希望が増加。園の活動を伝えることで、地域の方も含め応援の輪が広がる感じがします。

ドキュメンテーション
って、計画や
連絡帳や色々つかえるんだ

ICTで作成したドキュメンテーションは、あえて紙でも印刷し、玄関に掲示。保護者と会話はずむきっかけに